

「国営讃岐まんのう公園マネジメントビジョン2050（案）」に対する  
パブリックコメントの実施結果について

四国地方整備局では、令和7年2月13日から3月14日まで、国営讃岐まんのう公園が目指すべき中長期的なあり方を示す「国営讃岐まんのう公園マネジメントビジョン2050（案）」に関するパブリックコメントを実施し、広く国民の皆様からご意見を募集いたしましたところ、5件のご意見が寄せられました。

この度、お寄せいただいたご意見の要旨を下記のとおりまとめましたので、公表いたします。

いただいたご意見につきましては、官民連携を図りながら、今後持続的な公園の管理運営や周辺地域の活性化にむけた取組みの検討を行う際のご参考とさせていただきます。

今回の募集にあたり、ご協力いただきました方々へ厚くお礼申し上げるとともに、今後とも国土交通行政の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

（1）「マネジメントビジョン2050（案）」全体についてのご意見等

- 「本ビジョンは概ね20年間のマネジメントビジョンを示す」とありますが、マネジメントの手法や具体的な方法論について記載が不足しているように思います。
- 現状の問題点として「バリューアップに資する更新投資の不足」とありますが、施設の老朽化の課題や収益事業の現状等、管理運営の現状についても記載が必要ではないかと思料します。
- 公園の活性化に向けた課題で「利用者ニーズを捉えたメリハリのある更新投資」とあるが、「更新投資」だけでなく「維持管理運営」も同様に、季節料金や開園エリア、開園時間、休園日等の柔軟な設定によりメリハリをつける必要があるのではないか。と考えます
- 「コンセプトは、基本計画、公園活性化に向けた課題、今後果たす役割等を踏まえて掲げ、このコンセプトの下でマネジメントを推進していく」とありますが、掲げられたコンセプトを実施するためのマネジメント方針は、別途管理運営プログラムや実施方針において示されるのでしょうか。
- コンセプトは、20年後にはどのような公園であるべきかについてコンセプトを設定し、しっかりと説明をするべきと思料します。
- 「各ゾーンの目指すべき姿」について、方針・目標のための具体的な方法論や手法の記載が必要ではないでしょうか。

（2）各ゾーンでの取組内容についてのご意見・アイデア等

- 四国の在来植物のシードバンク的機能として、四国内の植物を集めたエリアを作つてほしい。
- ドローンの訓練、試験場としての利用について検討してほしい。

- よくキャンプ場を利用しますが、自転車のリース料が高いように思います。キャンプ場へサイクリングセンターどちらでも乗り捨てができるようであれば便利だと思います。
- 子供向けの遊具について、多数固めて設置してほしいです。「そこに行けば1日遊べるであろう」という合理的な期待が持てる」「1回では回りきれないほどの規模がある」「比較的低廉な料金でお得」という場所になれば、利用者は増えるのではないかでしょうか。
- 高松市の「ミライエ」、近隣施設だと岡山県/吉備中央町の「キッズパーク」のような屋外遊具が充実すると天候にかかわらずお出かけ先の候補になります。遊具の周囲にベンチ等親が休憩できる施設を置いてほしいです。
- 売店の拡充(大手コンビニを入れる等)、既存の食堂のクオリティの改善、フードコートのようにテナントを入れる等、質・量ともにレベルアップすればなお良いです。モンバスも人気なので、更に規模を拡大しても良いのではないかでしょうか。
- イルミネーションを気に入っているので、ぜひ今後も続けてほしいです。

### (3) その他 (全体についてのご意見)

- 厳しい財政状況ですが、各ゾーンの目指すべき取り組みを少しでも早く進めるべきだと思います。

以 上